

# 対エクアドル草の根・人間の安全保障無償資金協力

## 「チャミコ橋梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チャミコ橋梁建設計画」のための、当館とナンガリッサ市による贈与契約署名式が行われました。

サモラ・チンチベ県ナンガリッサ市スルミ自治区ヌエボ・サン・ルカス地区を流れるチャミコ川の渡河部分は、同地区及び更に奥に位置するチュンビリアッサ地区とスルミ自治区中心部を連絡する交通の要所である。ヌエボ・サン・ルカス地区には教育機関は無く、小学校は隣接するラス・オルキデアス地区に、中学校以上の教育機関へはスルミ自治区中心部へ通わなければならない。また、ヌエボ・サン・ルカス地区には診療所も無く、スルミ自治区中心部の診療所やナンガリッサ市中心部方面へ行かなければならないことが多い。また、本件対象地区の住民の大半は農業並びに牧畜業に従事しており、同サイトは農産物の運搬や人及び家畜の移送、日常的な通学や通院などのために必要不可欠な交通経路である。しかしながら、現在同サイトに橋梁はなく、普通自動車や軽量トラック等の車両は、川の中を通らざるを得ない。乾期には水深が30cm程度であるため、車両通行に問題ないが、雨期の12月から3月頃は、水深約1mに達し、水が引くまで1週間前後かかることがある。その間、車両の通行は遮断されるため、地域住民は2002年にナンガリッサ市によって建設された幅50センチの鉄筋コンクリート製の歩道橋を渡り、徒歩で約1時間かけてラス・オルキデアス地区まで通っている。このような事情により、1年を通して車両が通行できる鉄筋コンクリート製の安全な橋梁の設置が求められている。

本計画は、前述の地区において1橋梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。

供与額： 9,996,470円

贈与契約締結日： 2015年12月18日

### 計画実施前



### 署名式

